

# 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 研究課題名

リハビリ職種から尿道留置カテーテルの早期抜去に向けた働きかけについての検討

## 2. 研究の対象患者

旭中央病院に入院している患者さんで、担当医よりリハビリ依頼があった患者さん

### ・選択基準

以下の基準を全て満たす患者さんを対象とする

- 1) 入院中の患者でリハビリ依頼があるもの
- 2) 1日でも理学療法・作業療法を実施したもの
- 3) 尿道留置カテーテルがついており、かつ歩行訓練を行っているもの
- 4) 年齢・性別不問

### ・除外基準

以下のいずれかに抵触する患者さんは本研究に組み入れないこととする

- 1) リハビリ依頼が出たが、理学療法・作業療法を実施しなかった患者さん
- 2) 尿道留置カテーテルがついていない患者さん
- 3) 歩行訓練を行っていない患者さん

## 3. 研究の対象期間

2023年6月1日～2024年11月30日

## 4. 研究の概要

リハビリテーションの役割として、身体機能の回復を促し、ADL自立を目指しQOLを高めていくことは重要である。実際の臨床場面の中で、尿道留置カテーテルを挿入している患者を対応する場面は多い。不必要に長期にわたり尿道留置カテーテルを使用することは、身体機能や精神機能の回復の妨げとなり、リハビリテーション治療の阻害因子とも言われている。また当院では2018年度より排尿ケアチームが発足し、同年9月より排尿障害を抱えている患者を対象とした排尿ケア回診が開始となっている。

今回は、尿道留置カテーテルを挿入しており、歩行訓練を実施している患者の現状調査および抽出を行い、排尿ケアチームと協働し尿道留置カテーテルの必要性を考え、不必要な尿道留置カテーテルの早期抜去に向けた取り組みを排尿ケア回診を介して行う。

## 5. 研究実施予定期間

2025年1月22日～2025年6月30日

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、入退院日、手術名・手術日、診断名、リハビリテーション開始日、リハビリテーション実施日数、尿道留置カテーテル挿入期間

〔ADL評価〕：FIM

〔その他検査〕：歩行訓練の有無

〔尿道留置カテーテルの絶対的対応〕：厳密な尿量測定の有無、創保護目的の有無、緩和目的かどうか

## 7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： リハビリテーション科 野村良亮

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)